

北の抒情と幻想

国松登展

KUNIMATSU Noboru: A Retrospective

2021年

10月9日(土)―12月5日(日)

開館時間 | 午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)

休館日 | 月曜日(11/1は開館)



国松登《氷人・冬樹》1974年 北海道立近代美術館蔵

観覧料 | 一般920(720)円 高大生610(410)円、小中生300(200)円

●()内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、および10名以上の団体料金。前売券は、9月26日(日)まで当館受付カウンターにて(休館日を除く)、9月28日(火)から10月8日(金)まで当館職員通用口での販売(月曜日を除く)。●ミュージアム・コレクション秋～冬と同時観覧の場合＝一般1,030(930)円、高大生670(520)円。●学校の教育活動で利用する場合は観覧料免除(引率者含む)。●親子割引など、お得な料金もございます。詳しくは函館美術館までお問い合わせください。

主催 | 北海道立函館美術館

共催 | 北海道新聞函館支社

後援 | 函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか

協力 | 北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社



北海道立函館美術館
HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒040-0001 函館市五稜郭町37-6

TEL.0138-56-6311

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/hbj/>





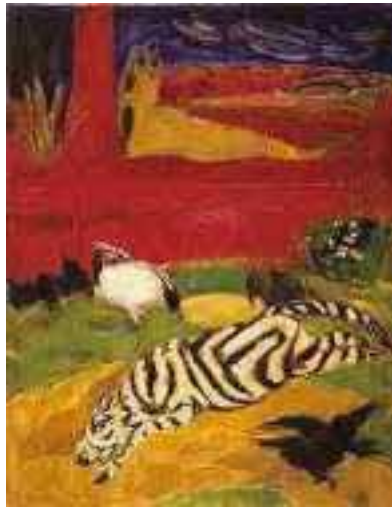
国松登《白馬》1935年 市立小樽美術館蔵



国松登《黄昏》1994年 北海道立近代美術館蔵



国松登《氷上のけものたち》1966年 北海道立函館美術館蔵



国松登《寝園獣走》1940年 北海道立近代美術館蔵



国松登《眼のない魚》1954年 北海道立近代美術館蔵



国松が生前使用していた
パレット 個人蔵

函館出身の国松登(1907-1994)は、北海道を代表する画家のひとりです。北海道の自然や動物、人物などを題材に、幻想的な絵画世界を築き上げました。とりわけ「眼のない魚」や「氷人」「氷上」などの作品は、よく知られているといえるでしょう。深い青が印象的な「眼のない魚」は、1950年代に発表した作品群です。この一連の作品を描く数年前、国松は戦後の混乱した社会での自身の芸術活動についてさまざまな迷いを抱いていました。そんな時、偶然水族館で見た眼の潰れた魚に自らの姿を重ねて描いたのが「眼のない魚」。静けさの中にもどこか情感が漂う表現は評価され、画業の大きな転機となりました。根室の流水から着想を得た「氷人」「氷上」も、約30年にわたり制作され代表的な作品群です。ここには氷の上で繰り広げられる人間や動物たちのドラマが表されています。じつは国松にとって「氷人」とは、何か特定の人物ではなく人間愛の象徴でした。その姿を追求するうちに、やがて作品は社会への関心を含みながら、より幻想的で詩情あふれる独自の表現へと深化していきました。

本展では、こうした国松の歩みを初期から晩年に至る代表的な約50点によってたどるとともに、私淑していた札幌出身の洋画家・三岸好太郎や、北海道独立美術協会に参加した同時代の画家の作品もあわせてご紹介します。また、国松は若い頃から文学などにも関心を寄せ、自らも俳句等を愛好していました。そうした活動や交友関係をうかがえる文学資料にもスポットをあてて展示します。北国の風土に根づいた抒情と幻想に満ちた作品の数々を、ぜひお楽しみください。



三岸好太郎《立てる道化》1932年頃
北海道立三岸好太郎美術館蔵

美術講演会「国松登 ―父として、画家として―

10月9日(土) 午前11時～(約60分) 当館講堂／聴講無料
講師 | 国松明日香氏(彫刻家・国松登氏長男)

見どころ解説 当館講堂／聴講無料
10月17日(日)、11月14日(日) 各日午後2時～(約30分) 講師 | 当館学芸員

美術講座「国松登の生涯と画業について」 当館講堂／聴講無料
10月31日(日)、11月28日(日) 各日午後2時～(約60分) 講師 | 石井紗輝(当館学芸員)

美術映画会 当館講堂／入場無料
10月16日(土) 午後2時～『名画の秘密』シリーズ6「オランダの光と影」
11月20日(土) 午後2時～『名画の秘密』シリーズ7「世紀末からのメッセージ」

●いずれの事業も当日、各開始時間の1時間前より会場前にて整理券を配布。先着25名。

道銀文化財団 Art Ensemble #13
北海道立函館美術館コンサート
フルーツとピアノで紡ぐ 秋の幻想
当館ホール／観覧無料
出演 | 佐々木花葉(フルート)、佐々木萌絵(フルート)、河村亜寿香(ピアノ)
主催 | 北海道立函館美術館／公益財団法人道銀文化財団
観覧方法 | 当日、各開演時間の1時間前より会場ホールにて整理券を配布。先着30名(椅子席分)。なお、立ち見でもご覧いただけます。

10月30日(土)
① 午前11時～
② 午後2時～
(いずれも約40分)

同時開催 ▶ ミュージアム・コレクション秋～冬

常設展示室「新収蔵品展」
鷗亭記念室「没後20年 金子鷗亭 近代詩文書の魅力」

観覧料 | 一般260(210)円、高大生150(110)円

●()内は10名以上の団体料金 ●中学生以下、65歳以上、高等学校の教育活動(引率者含む)および、土曜日における高校生は観覧無料。●芸術週間(11/1-7)は観覧無料。

関連事業のご案内

その他関連事業については、当館HP・SNS等をご覧ください。

北海道立函館美術館

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

〒040-0001 函館市五稜郭町37-6
TEL.0138-56-6311

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/hbj/>



市電バス
「五稜郭公園前」下車 ⇒ 徒歩7分
「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」
「五稜郭病院前」「五稜郭」下車 ⇒ 徒歩3～7分
JR函館駅より約10分／函館空港より約20分
タクシー
駐車場 函館市芸術ホール駐車場をご利用いただけます。

* 函館美術館ご利用の方は駐車場料金が2時間まで無料になります。

